

一般社団法人 溶接学会

平成28年度 春季全国大会開催御通知

平成28年度春季全国大会講演会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

一般社団法人 溶接学会

会期：平成28年 4 月12日(火)、13日(水)、14日(木)

会場：ATC（アジア太平洋トレードセンター）
O's 南 6 階 (コンベンションルーム 1, 2, B7, B8会議室)
〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北2-1-10
TEL：080-3395-7225（大会事務局）

参加登録料：参加登録料にデジタル概要の閲覧・ダウンロード権が含まれます。
参加登録料は当日大会会場でお支払いください。
正員・賛助員：10,000円(不課税)
学 生 員： 5,000円(不課税)
非 会 員(学生)：10,000円(税 込)
非会員(学生以外)：20,000円(税 込)

第6回溶接連合講演会：
4月14日(木)「第6回溶接連合講演会」は、別途「国際ウエルディングショー」ページからのご登録が必要で、事前登録をされた方のみが入場できます。(http://www.weldingshow.jp/)
参加費は当日、連合講演会受付にてお支払いください：3,000円（税込）。

記

講演概要のデジタル化：
従来の印刷物での冊子販売は廃止となりました。
事前に大会参加登録をし、会場にお越しになる前にデジタル講演概要をダウンロードし、携行するパソコン、タブレット端末、スマホなどに保存されるか、プリントアウトしてご持参されることをお奨めします。

事前参加登録：※「第6回溶接連合講演会」の参加申し込みは下記URLからは出来ません。
平成28年 3月14日(月)よりホームページ(http://www.jweld.jp/)にて、大会参加受付を開始いたします。
デジタル講演概要が必要な方は参加登録・ダウンロードを事前にお済ませください。
大会会場での当日受付も可能ですが、会場でインターネット接続・概要ダウンロードをご希望の方は、モバイル通信が可能な携帯端末などをご自身でご用意ください。
大会会場でのインターネット接続・印刷サービスはございません。

参加受付開始時間：
4月12日(火) 9:30、13日(水) 12:00、14日(木) 8:00

平成 28 年度 春季全国大会 日程表

日	時間	テ	ー	マ	時間	テ	ー	マ	日	時間	テ	ー	マ	時間	テ	ー	マ	
4月12日(火)	第1会場（コンベンションルーム1）				第2会場（コンベンションルーム2）				4月12日(火)	第3会場（B7会議室）				第4会場（B8会議室）				
	10:30 ┆ 12:00	レーザ溶接・ブレージング　　〈1-1〉			10:30 ┆ 11:45	鉄鋼のF S W・摩擦プロセス　　〈2-1〉				10:30 ┆ 12:15	残留応力　　〈3-1〉			10:30 ┆ 12:00	界面現象　　〈4-1〉			
	13:00 ┆ 14:00	特別講演　「新構造材料研究開発について　ーISMA/NEDOプロジェクトとSIP/JSTプロジェクトー」 岸　　輝雄 氏 新構造材料技術研究組合　理事長／東京大学名誉教授 （第1会場：コンベンションルーム1）																
	14:15 ┆ 17:00	シンポジウム 「SIP革新的構造材料プロジェクト：マテリアルズインテグレーションにおける溶接・接合技術の展開」 （第1会場：コンベンションルーム1）																
4月13日(水)	第1会場（コンベンションルーム1）				第2会場（コンベンションルーム2）				4月13日(水)	第3会場（B7会議室）				第4会場（B8会議室）				
	10:15 ┆ 12:00	通常総会（第1会場：コンベンションルーム1）																
	13:00 ┆ 17:00	フォーラム 「溶接残留応力と疲労強度」			13:00 ┆ 13:45	F S W軽金属（I）　　〈2-2〉				13:00 ┆ 13:45	冶　金（I）　　〈3-2〉			13:00 ┆ 14:15	アーク溶接・物理（I）　　〈4-2〉			
					14:00 ┆ 15:15	F S W軽金属（II）　　〈2-3〉				14:00 ┆ 15:15	冶　金（II）　　〈3-3〉			14:30 ┆ 15:30	アーク溶接・物理（II）　　〈4-3〉			
					15:30 ┆ 16:30	F S S W・F S P　　〈2-4〉				15:30 ┆ 16:30	レーザ切断・ハイブリッド溶接　　〈3-4〉			15:45 ┆ 17:00	アーク溶接・物理（III）　　〈4-4〉			
	17:00 ┆ 19:00	理事会・支部長会議								17:00 ┆ 18:55	若手会員の会　イブニングフォーラム 「若手研究のホットトピックス」 （第3会場：B7会議室）							
4月14日(木)	第1会場（コンベンションルーム1）				第2会場（コンベンションルーム2）				4月14日(木)	第3会場（B7会議室）				第4会場（B8会議室）				
	9:00 ┆ 10:15	オーガナイズドセッション　　〈1-2〉 テーマ「アディティブ・マニユファクチャリングに おける溶接・接合現象」			9:00 ┆ 10:15	溶　接　法　　〈2-5〉				9:00 ┆ 10:30	抵　抗　溶　接（I）　　〈3-5〉			9:00 ┆ 10:15	疲　　労　　〈4-5〉			
	10:30 ┆ 11:30	レ　ー　ザ　積　層　　〈1-3〉			10:30 ┆ 11:15	超　音　波　接　合　　〈2-6〉				10:45 ┆ 11:45	抵　抗　溶　接（II）　　〈3-6〉			10:30 ┆ 11:30	破　　壊　　〈4-6〉			
	13:00 ┆ 17:00	第6回溶接連合講演会　「現場ものづくり力を高めるために ーコストダウンのための溶接・溶断技術を学ぼうー」 ※本セッションは、事前登録が必要です。（参加費は当日、連合講演会受付にてお支払いください：3,000円(税込)） （第1会場：コンベンションルーム1）												11:45 ┆ 12:45	溶　接　変　形　　〈4-7〉			

第 1 日 (4月12日－火－)										第 1 日 (4月12日－火－)									
第1会場 (コンベンションルーム1)				第2会場 (コンベンションルーム2)				第3会場 (B7会議室)				第4会場 (B8会議室)							
レーザ溶接・ブレイジング				鉄鋼のF S W・摩擦プロセス				残留応力				界面現象							
座 長 木 谷 靖 (JFEスチール)				座 長 佐 藤 裕 (東北大)				座 長 中 谷 光 良 (阪大／Hitz)				座 長 池庄司 敏 孝 (近大)							
〈1-1〉				〈2-1〉				〈3-1〉				〈4-1〉							
101	10:30 ～ 10:45	大出力レーザ溶接時のビード整形方法	○住森 大地 ナデックスプロダクツ 水谷 春樹 芦田 洋三	201	10:30 ～ 10:45	摩擦攪拌接合に及ぼすツール表面状態の影響	阪大接合研 ○森貞 好昭 雷 哲 藤井 英俊	301	10:30 ～ 10:45	インデンテーション法による応力－ひずみ曲線の推定精度向上に向けた検討	大阪大学 ○植屋 皓太 東京ガス 岡野 成威 大阪大学 今井 康仁 大阪大学 瀬古 祐介 大阪大学 望月 正人	401	10:30 ～ 10:45	C／C複合材料の炭素繊維への三酸化タングステンコーティングによる金属のぬれ制御	東京工大 ○福田 雅文 山崎 敬久 山本 英幸				
102	10:45 ～ 11:00	レーザロール溶接によるマグネシウム合金と低炭素鋼の異種金属接合 (第2報)	○尾崎 仁志 海道 和貴 三重大 齋藤 健伍 川上 博士 鈴木 実平	202	10:45 ～ 11:00	Al合金／鉄鋼材料の異材摩擦攪拌接合における接合ツール形状が接合界面に及ぼす影響	○杉本 大地 豊橋技科大 安井 利明 福本 昌宏	302	10:45 ～ 11:00	円筒多層溶接時の残留応力分布に及ぼす諸因子の影響に関する検討	大阪府大 ○大宅 夏海 大阪大学 生島 一樹 阪大接合研 高橋遼太郎 大阪府大 村川 英一 大阪府大 柴原 正和	402	10:45 ～ 11:00	特殊黄銅板上における鉛フリーはんだのぬれ性評価	東海大学 ○降旗 恭平 鳥飼 翔太 木村 康輝 宮澤 靖幸 キッツメタルワークス 為田 英信				
103	11:00 ～ 11:15	鋼／アルミニウム合金異材接合継手へのホットワイヤ・レーザブレイジング法の適用検討	広島大学 ○高谷 駿介 山本 元道 JFEスチール 篠崎 賢二 門井 浩太 松田 広志 池田 倫正	203	11:00 ～ 11:15	摩擦攪拌接合法による低放射化フェライト鋼異材接合体作製に関する基礎的検討	阪大接合研 ○芹澤 久 大阪大学 村上 雅一 阪大接合研 森貞 好昭 東北大学 藤井 英俊 核融合研 野上 修平 原子力開発 長坂 琢也 谷川 博康	303	11:00 ～ 11:15	表面機械加工後の溶接による残留応力分布に及ぼす加工条件の影響に関するX線的評価	大阪大学 ○谷口 優 岡野 成威 伊原 涼平 望月 正人	403	11:00 ～ 11:15	ギ酸雰囲気を用いたはんだ付でのボイド形成に及ぼす加熱プロセスの影響	阪大接合研 ○何 思亮 西川 宏				
104	11:15 ～ 11:30	粒子法とX線その場観察を用いたステンレス鋼のレーザ溶接時におけるキーホール形成機構の基礎研究	阪大接合研 ○川人 洋介 千村 伊作 村川 英一 片山 聖二	204	11:15 ～ 11:30	摩擦攪拌粉末プロセスを用いたクロム添加による中炭素鋼の表面改質	阪大接合研 ○孫 伽間 森貞 好昭 孫 玉峰 藤井 英俊	304	11:15 ～ 11:30	固有ひずみ理論とメッシュ細分割法に基づくコンター法	阪大接合研 ○黄 輝 村川 英一	404	11:15 ～ 11:30	IGZO薄膜トランジスタの電気特性に及ぼすCu(Ti)電極／IGZO接合界面の影響	大阪大学 伊藤 和博 ○小濱 和之 西端 惇 佐野 貴之 生田 俊秀 大井 暁彦				
105	11:30 ～ 11:45	キーホール攪拌によるレーザ溶接スパッタ低減に関する検討	日立製作所 ○張 旭東 宮城 雅徳 日立オートモティブシステムズ 一戸 誠之 黒木 達郎	205	11:30 ～ 11:45	中炭素鋼の線形摩擦接合	阪大接合研 ○黒岩 良祐 青木 祥宏 新日鐵住金 藤井 英俊 岡田 徹 泰山 正則	305	11:30 ～ 11:45	EBSD法による微視的残留応力測定手法の特性に関する検討	大阪大学 ○三上 欣希 原子力安全研 小田 和生 大阪大学 釜谷 昌幸 大阪大学 望月 正人	405	11:30 ～ 11:45	ろう材層厚さがWC-Coろう付時の界面反応に及ぼす影響	東海大学 ○後藤 拓海 坂下 麟太郎 宮澤 靖幸 MMCリョウテック 高頭 竜雄				
106	11:45 ～ 12:00	CIP法を用いたアルミニウムのレーザスポット溶接時におけるキーホール形成挙動の三次元数値解析	大阪大学 ○堀尾 克磨 周 キョウホウ 阪大接合研 森 裕章 宮坂 史和 水谷 正海 川人 洋介 片山 聖二					306	11:45 ～ 12:00	熱処理による溶接残留応力の低減がUリブ鋼床版の耐疲労性に及ぼす影響	名古屋大学 ○廣畑 幹人 伊藤 義人	406	11:45 ～ 12:00	チタンと酸化物ガラスの陽極接合における界面反応	阪大接合研 ○高橋 誠				
								307	12:00 ～ 12:15	LTT溶接による残留応力低減効果のFEM解析と実験測定	JSOL 阪大接合研 ○麻 寧緒 堤 成一郎 宮崎 俊幸 黄 輝 村川 英一								
12:00 ～ 13:00		休 憩		11:45 ～ 13:00		休 憩		12:15 ～ 13:00		休 憩		12:00 ～ 13:00		休 憩					
13:00 ～ 14:00		特別講演「新構造材料研究開発についてーISMA/NEDOプロジェクトとSIP/JSTプロジェクトー」 岸 輝雄 氏 新構造材料技術研究組合 理事長／東京大学名誉教授 司会 粉川 博之 会長 (第1会場：コンベンションルーム1)																	
14:00 ～ 14:15		休 憩		14:00 ～ 14:15		休 憩		14:00 ～ 14:15		休 憩		14:00 ～ 14:15		休 憩					

第 1 日（4月12日－火－）				第 1 日（4月12日－火－）			
第1会場（コンベンションルーム1）		第2会場（コンベンションルーム2）		第3会場（B7会議室）		第4会場（B8会議室）	
シンポジウム：14:15～17:00							
主 題：「SIP革新的構造材料プロジェクト：マテリアルズ インテグレーションにおける溶接・接合技術の展開」							
座 長：田中 学（大阪大学）							
プログラム：							
★マテリアルズインテグレーションシステム（60分）							
・マテリアルズインテグレーション（MI）システム開発の プロジェクト概要		東京大学 小関 敏彦					
・MIプロジェクトにおける組織予測システムの開発		東京大学 糟谷 正					
・MIプロジェクトにおける性能予測システムの開発		東京大学 榎 学					
休憩（15分）							
★溶接部性能保証のためのシミュレーション技術の開発（60分）							
・溶接部性能保証のためのシミュレーション技術の 開発プロジェクトの研究概要		大阪大学 廣瀬 明夫					
・溶接熱源のモデル化とそれによる溶融池形成予測技術の開発		大阪大学 浅井 知					
・凝固・組織変化を伴う溶接部の特性予測技術の開発		大阪大学 才田 一幸					
・溶接継手の性能予測技術の開発		大阪大学 大畑 充					
★総合討論（30分）							

第 2 日（4月13日－水－）				第 2 日（4月13日－水－）			
10:15 ～ 12:00	通 常 総 会（第1会場：コンベンションルーム1）						
12:00 ～ 13:00	休 憩	12:00 ～ 13:00	休 憩	12:00 ～ 13:00	休 憩	12:00 ～ 13:00	休 憩

第 2 日 (4月13日－水－)										第 2 日 (4月13日－水－)															
第1会場 (コンベンションルーム1)				第2会場 (コンベンションルーム2)				第3会場 (B7会議室)				第4会場 (B8会議室)													
フォーラム：13:00～17:00 主 題：「溶接残留応力と疲労強度」 座 長：大沢 直樹 (大阪大学) プログラム： (1) 改良型深孔穿孔法による板厚内部残留応力計測法の開発 大阪大学 ○望月 正人, 岡野 成威 (2) ICR処理による溶接継手の疲労き裂補修対策 名古屋大学 ○館石 和雄, 判治 剛, 清水 優 (3) 超音波衝撃処理による溶接継手の疲労寿命向上効果に及ぼす影響因子 新日鐵住金 ○島貫 広志 (4) ハンマーピーニングによる圧縮残留応力導入と疲労亀裂進展寿命向上 JFEスチール ○森影 康, 伊木 聡, 田川 哲哉, 大井 健次 九州大学大学院 村上 幸治, 後藤 浩二 (5) 低変態温度溶接材料を用いた圧縮残留応力強化メカニズムと伸長ビード溶接処理による溶接部疲労特性向上 大阪大学 ○志賀 千晃*, 村川 英一, 平岡 和雄, 大沢 直樹, 堤 成一郎 長崎総合科学大学 矢島 浩*, 谷野 忠和* * (研究当時所属) (6) 溶接残留応力を含む平均応力と材料強度を考慮した疲労強度評価法の検討 マリタイムイノベーションジャパン ○山本 規雄 (7) 溶接残留応力のシミュレーション結果を活用した疲労寿命概算エンジニアリングツール 大阪大学 ○村川 英一 (8) 接合部の局所的な繰返し弾塑性挙動に基づく疲労寿命評価 大阪大学 ○堤 成一郎				F S W軽金属 (Ⅰ) <2-2> 座 長 柴 柳 敏 哉 (富山大)				冶 金 (Ⅰ) <3-2> 座 長 伊 藤 和 博 (阪大)				アーク溶接・物理 (Ⅰ) <4-2> 座 長 笹 倉 秀 司 (神鋼)													
206		13:00 ～ 13:15	無回転ショルダツールを用いた摩擦攪拌接合における攪拌部形成機構の解明	阪大接合研		○武岡 正樹 森貞 好昭 孫 玉峰 藤井 英俊		308		13:00 ～ 13:15	高強度鋼の溶接金属の靱性に及ぼす組織の影響	日鉄住金テクノロジー		○大西 雄次 田中 隆 加戸 徹 小川 和博		407		13:00 ～ 13:15	新開発メタル系フラックス入りワイヤの高電流溶接におけるスパッタ量と溶込み深さ	日鐵住金溶接		○坂林 直樹 高山 力也 齋藤 雅哉 木本 勇 土久岡 諒			
207		13:15 ～ 13:30	Developments of microstructure and mechanical properties in friction stir welding of thick 5083 alum	阪大接合研 JSOL 阪大接合研		○イマムルシウド 孫 玉峰 藤井 英俊 麻 寧緒 堤 誠一郎 村川 英一		309		13:15 ～ 13:30	低酸素アーク溶接金属のミクロ組織	愛媛大学		○小原 昌弘 千葉 剛太 是川 顕宏		408		13:15 ～ 13:30	狭開先マグ溶接の高品質化に関する一考察	新日鐵住金 阪大接合研		○片山 翼 森本 拓世 木村 文映 田中 学			
208		13:30 ～ 13:45	難燃性マグネシウム合金の非対称DFSW継手の組織と機械的性質に及ぼすツール回転速度の影響	阪大接合研 総合車両製作所		○周 夢然 上路林太郎 藤井 英俊 石川 武		310		13:30 ～ 13:45	片状黒鉛鑄鉄の共金系溶接材料の検討	広島大学 特殊溶接棒 広島大学		○門井 浩太 橋本 匡史 篠崎 賢二		409		13:30 ～ 13:45	高電流埋もれアークの安定化	ダイヘン 大阪大学		○馬場 勇人 塩崎 秀男 恵良 哲生 上山 智之 田中 学			
		13:45 ～ 14:00	休 憩							13:45 ～ 14:00	休 憩					410	13:45 ～ 14:00	高電流埋もれアークを用いた片側貫通溶接の開発	ダイヘン		○馬場 勇人 塩崎 秀男 恵良 哲生 河合 宏和 井上 松杰 上山 雅博 智之				
				F S W軽金属 (Ⅱ) <2-3> 座 長 藤 井 英 俊 (阪大)				冶 金 (Ⅱ) <3-3> 座 長 森 裕 章 (阪大)								411				14:00 ～ 14:15	交流パルスGMA溶接による高溶着溶接技術の開発	ダイヘン		○門田 圭二 近藤わか 恵良 哲生	
209		14:00 ～ 14:15	有限要素法による摩擦攪拌接合ツール周辺温度の予測	JSOL		○功刀 厚志 川嶋 俊一		311		14:00 ～ 14:15	ホットワイヤ・レーザ溶接法を用いた9Cr1Mo鋼狭開先多層盛溶接金属の凝固割れ発生予測	広島大学		○山本 元道 劉 一夫 滔々 昌朋 篠崎 賢二		410		14:15 ～ 14:30	休 憩						
210		14:15 ～ 14:30	AZ31マグネシウム合金の摩擦攪拌接合過程における結晶粒組織形成機構	東北大学		○シロフセルゲイ 大沼 峻輝 佐藤 裕 粉川 博之		312		14:15 ～ 14:30	Gr.92鋼溶接金属におけるクリープ破断寿命予測方法の検討	神鋼溶接サービス 神戸製鋼 阪大接合研		○宮北 歩 山下 賢 菅 哲男		アーク溶接・物理 (Ⅱ) <4-3> 座 長 宮 坂 史 和 (阪大)									
211		14:30 ～ 14:45	5083アルミニウム合金の摩擦攪拌接合過程における入熱の実験的測定	東北大学		佐藤 裕 ○古谷 拓希 大沼 峻輝 池田 和広 粉川 博之		313		14:30 ～ 14:45	オーステナイト系金属材料の異材溶接金属における凝固割れ感受性におよぼすNbの影響	広島大学		○門井 浩太 佐藤 友美 篠崎 賢二 山本 元道		412		14:30 ～ 14:45	GMAW溶融池の汎用シミュレーションモデルに関する研究	大阪大学		○田村 光亮 荻野 陽輔 平田 好則 浅井 知			
212		14:45 ～ 15:00	6N01アルミニウム合金摩擦攪拌接合継手のKissing bond と疲労挙動の関係	富山大学 富山県工技 軽金属溶接協会		○渡辺 明 柴柳 敏哉 石原 知 富田 正吾 山岸 英樹 柿内 茂樹 榎本 正敏		314		14:45 ～ 15:00	マルチフェーズフィールド法を用いたオーステナイト系ステンレス鋼のレーザ溶接中の凝固組織形成予測	広島大学		○王 丹 門井 浩太 篠崎 賢二		413		14:45 ～ 15:00	非圧縮性SPH法を用いたGMA溶接中の三次元溶融池対流シミュレーション	阪大接合研		○古免 久弥 茂田 正哉 田中 学			
213		15:00 ～ 15:15	6N01アルミニウム合金摩擦攪拌接合継手の機械的性質と超音波フェーズドアレイ法による非破壊検査	富山大学 富山県工技 軽金属溶接協会 東北大学		○井上 克浩 渡辺 明 塩谷 優太 富田 正吾 山岸 英樹 柿内 茂樹 榎本 正敏 三原 毅		315		15:00 ～ 15:15	耐熱合金溶接金属の再熱割れ感受性の定量評価	大阪大学 福井工大 新日鐵住金		○小椋 智 窪田 圭祐 才田 一幸 西本 和俊 平田 弘征		414		15:00 ～ 15:15	FCA溶接における溶融池現象のモデル化	大阪大学		○荻野 陽輔 平田 好則 浅井 知			
		15:15 ～ 15:30	休 憩							15:15 ～ 15:30	休 憩					415	15:15 ～ 15:30	溶接ヒューム生成機構の数値解析 (第7報)	阪大接合研		○田代 真一 田中 学				

第 2 日 (4月13日－水－)										第 2 日 (4月13日－水－)														
第1会場 (コンベンションルーム1)					第2会場 (コンベンションルーム2)					第3会場 (B7会議室)					第4会場 (B8会議室)									
					FSSW・FSP					レーザ切断・ハイブリッド溶接					15:30) 15:45					休 憩				
					座 長 小 棕 智 (阪大)					座 長 宮 崎 康 信 (新日鐵住金)														
					214	15:30) 15:45	工業用純チタンと工具鋼との摩擦攪拌点接合による接合性と組織	○青沼 昌幸 肥澤 拓也 岩岡 拓 中村 勲 森河 和雄	316	15:30) 15:45	極限環境下における水中レーザ切断技術に関する基礎研究	○氷見 太 川人 洋 水谷 正 近藤 海 片山 義聖二	アーク溶接・物理 (III)					座 長 茂 田 正 哉 (阪大)						
					215	15:45) 16:00	Friction Stir Spot Welding of 6061-Al alloy at low welding temperature	○孫 玉峰 森貞 好昭 藤井 英俊	317	15:45) 16:00	レーザアークハイブリッド溶接における溶接変形に及ぼす開先形状の影響	九州工大 ○中島 朋昭 山口 富子 西日本工大 西尾 一政 山九 井上 智博 和田 洋二	416	15:45) 16:00	GMAW, FCAWにおける拡散性水素量に及ぼす溶接ワイヤ関連因子の影響	神戸製鋼	○迎井 直樹 鈴木 励一							
					216	16:00) 16:15	摩擦攪拌点接合ツールの機械的摩耗	近畿大学 ○生田 明彦	318	16:00) 16:15	ホットワイヤ・レーザ溶接法を用いた厚鋼板立向き溶接時のレーザ照射条件の検討	広島大学 ○栢田 康平 Varinsiruk Eakkachai 橋田 光榮 山本 元道 篠崎 賢二 矢島 活 材料強度研 三 務 日本海軍協会 重 伸 三菱重工 井 弘 新日鐵住金 中 平 三菱日立パワーシステムズ 山 渡 征浩	417	16:00) 16:15	拡散性水素低減プロセスの効果と溶接ワイヤ関連因子の関係	神戸製鋼	○迎井 直樹 丸山 徳治 鈴木 励一							
					217	16:15) 16:30	摩擦攪拌プロセスによる高張力鋼突合せ溶接継手の引張疲労強度増加	○山本 啓 伊藤 和博 小濱 和之 藤井 英俊	319	16:15) 16:30	ホットワイヤ・レーザ溶接法による高張力薄鋼板重ねすみ肉溶接時の適正条件の導出	広島県立総研 ○門 格史 広島大学 内田 俊隆 山本 元道 篠崎 賢二	418	16:15) 16:30	三次元発光分光法によるミグ溶接の温度計測	大阪大学	○戸田 要 吉井嘉一郎 野村 和史 三村 晃平 平田 好則 浅井 知							
										若手会員の会 イブニングフォーラム：17:00～18:55 テーマ：「若手研究のホットトピックス」 プログラム： 開会挨拶 (17:00～17:05) 講 演 (各30分程度) (17:05～18:35) (1)「合金化亜鉛めっきホットスタンプ鋼板の重ねレーザ溶接性」 徳永 仁寿 (新日鐵住金(株)) (2)「パルス電流波形による溶込み形状の制御」 野々村将一 (株IHI) (3)「大規模溶接力学解析手法の開発と実用化に向けた取り組み」 生島 一樹 (大阪府立大学)					419 16:30) 16:45					非対称交流磁場を用いた溶融池磁気制御アーク溶接法の研究－溶融池の流動変化と凝固組織－ 琉球大学 ○松田 昇一 沖縄県工技 棚原 靖 熊本大学 寺崎 秀紀 琉球大学 斧田 有平				
															420 16:45) 17:00					アーク放電により形成された金属液滴の表面張力の測定 大阪大学 ○飯田 将裕 神戸製鋼 平田 好則 日本溶接協会 泉谷 瞬 大阪大学 細井 宏一 大阪大学 浅井 知				
17:00) 19:00	理事会・支部長会議																							

第 3 日 (4月14日－木－)										第 3 日 (4月14日－木－)												
オーガナイズドセッション テーマ「アディティブ・マニュファクチャリングに おける溶接・接合現象」 座 長 桐 原 聡 秀 (阪大)					溶接法 座 長 山 下 賢 (神鋼)					抵抗溶接 (I) 座 長 古 迫 誠 司 (新日鐵住金)					疲 労 座 長 島 貫 広 志 (新日鐵住金)							
107	9:00)	電子ビーム溶融 (EBM) 積層造形されたCo-Cr基合金とNi基超合金ロッドの組織と機械的性質 〈依頼講演〉	東北大学 東北大学(現 大阪大学) 東北大学	○小泉雄一郎 孫 世海 丁 笑 齋藤 毅 山中 謙 千葉 晶彦	218	9:00)	9:15	フィラメント電極を用いた マイクロ放電現象	大阪大学	○井村 文哉 平田 好則 山下 隼 浅井 知	320	9:00)	9:15	平板状複数ターン・コイル による金属薄板の電磁圧接 (第2報)	都立工高専	○相沢 友勝	421	9:00)	9:15	継手疲労寿命に対するピー ド形状影響に関する数値解 析的検討	大阪大学	○堤 成一郎 北村 拓也 フィンカ リカルド 森田 花清

第 3 日 (4月14日－木－)										第 3 日 (4月14日－木－)									
第1会場 (コンベンションルーム1)					第2会場 (コンベンションルーム2)					第3会場 (B7会議室)					第4会場 (B8会議室)				
108	9:15 ～ 9:30	金属粉末レーザ積層造形法による高機能造形物の開発 〈依頼講演〉	大阪府立産技研	○中本 貴之 木村 貴広	219	9:15 ～ 9:30	プラズマ溶接におけるキーホルールの画像処理	埼玉大学 日立建機	○平野 王 山根 細谷 中嶋 山本	321	9:15 ～ 9:30	軟鋼とアルミニウム合金の異材スポット溶接の引張強度に及ぼす溶接組織の評価	山梨大学 OBARA	○阿部 望月 園家 中村 樋口	422	9:15 ～ 9:30	レーザーピーニングによって生じる残留応力・形状変化・硬化に関する数値解析的検討	大阪大学	○植田 一史 堤 成一郎 舩井 秀斗 Fincato Riccardo 佐野 智一
	9:30 ～ 9:45	Inconel718レーザ三次元積層造形体の異方性 〈依頼講演〉	九州大学	○津守不二夫 吉開 巨都 工藤健太郎 長田 稔子 三浦 秀士		9:30 ～ 9:45	LA-TIG溶接による突合せ継手の作成	阪大接合研	○水谷 正海 片山 聖二		9:30 ～ 9:45	抵抗スポット溶接を用いた鉄とアルミの異種金属接合	岐阜大学 豊田工大	○尹 松田 柳瀬 柿内 植松 奥宮		9:30 ～ 9:45	変動荷重下の疲労き裂発生寿命予測に関する基礎的検討	大阪大学	○森田 花清 堤 成一郎 フィンカトリカルド
110	9:45 ～ 10:00	レーザ積層造形法により作製した銅合金の組織と機械的性質 〈依頼講演〉	東北大学	○野村 直之	221	9:45 ～ 10:00	低酸素高電流MAG溶接での溶け込み形状制御	愛媛大学	○小原 昌弘 佐藤 正啓 山田伸太郎	323	9:45 ～ 10:00	抵抗スポット溶接を応用した金属と炭素繊維強化樹脂の直接異材接合	阪大接合研 電元社製作所	○永塚 肖 中田 佐伯 北本 岩本 吉野 吉野	424	9:45 ～ 10:00	非比例負荷条件下の繰返し硬軟化挙動に対する弾塑性変形解析	エステック 阪大接合研	○舩井 秀斗 堤 成一郎 フィンカトリカルド
	10:00 ～ 10:15	紫外線レーザ造形による金属ならびにセラミックスのアディティブ・マニュファクチャリング	大阪大学	○桐原 聡秀		10:00 ～ 10:15	多電極サブマージアーク溶接のアーク挙動に及ぼす位相差の影響	JFEスチール	○上月 渉平 石神 篤史 早川 直哉 大井 健次		10:00 ～ 10:15	インサート材を用いたSUS304とタフピッチ銅の抵抗スポット溶接	岐阜大学 豊田工大	尹 加藤 ○柳瀬 奥宮		10:00 ～ 10:15	Return mapping implementation of elasto-plasto and damage constitutive equations based on the Subloading Surface model	JWRI, Osaka Univ.	○FINCATO Riccardo TSUTSUMI Seichiro
10:15 ～ 10:30		休 憩				10:15 ～ 10:30	休 憩				325	10:15 ～ 10:30	金属箔インサート手法を用いた抵抗スポット溶接継手の接合強度向上に関する検討	大阪工大 大阪大学	○山本 祐輝 伊與田宗慶 望月 正人	10:15 ～ 10:30	休 憩		
レーザ積層 座 長 川 人 洋 介 (阪大)					超音波接合 座 長 福 本 信 次 (阪大)					10:30 ～ 10:45		休 憩	破 壊 座 長 萱 森 陽 一 (新日鐵住金)						
112	10:30 ～ 10:45	SLM過程におけるレーザ照射部周囲の温度分布と造形物金属組織	近畿大学 技術研究組合	○池庄司敏孝 京極 英樹 米原 牧子 荒木 正浩	223	10:30 ～ 10:45	超音波接合されたMg ₉₆ Zn ₂ Y ₂ 合金継手の微細組織	茨城大学	○末永 圭一 東 雄一 岩本 知広	抵抗溶接 (II) 座 長 松 田 広 志 (JFEスチール)					426	10:30 ～ 10:45	き裂材の動的応力場に対する慣性効果の動的陽解法FEMによる基礎検討	大阪大学 阪大接合研	○山田 卓 高嶋 康人 南 二三吉
	10:45 ～ 11:00	レーザクラッディングにおける粉末供給量の影響	阪大接合研 大阪大学 大阪富士工業	○林 良彦 阿部 信行 塚本 雅裕 山崎 裕之 谷川 大地 安積 一幸 米山 三樹男		10:45 ～ 11:00	金属／樹脂ハイブリッド構造のための縦振動超音波によるアルミニウム合金と炭素繊維強化熱可塑性樹脂の異種材接合	大阪大学	○安田 清和 西田 浩士	326	10:45 ～ 11:00	抵抗スポット溶接における数値シミュレーション	埼玉大学	○小池 伴幸		10:45 ～ 11:00	連続体損傷力学モデルに基づく溶接継手の強度評価に向けた基礎的検討	大阪府大 大阪大学	○生島 一樹 夏目 糧平 柴原 正和 大畑 充
114	11:00 ～ 11:15	直噴型粉末供給レーザクラッディングにおけるレーザ照射部の温度測定	大阪大学 阪大接合研 大阪富士工業 大阪大学 近畿大学	○谷川 大地 阿部 信行 塚本 雅裕 山崎 良彦 辰巳 裕之 米山 三樹男 中畔 哲也 仙石 正則	225	11:00 ～ 11:15	Al合金とCuの超音波接合部における酸化皮膜の挙動	東北大学	○藤井 啓道 遠藤 寛季 佐藤 裕 粉川 博之	327	11:00 ～ 11:15	光ファイバー温度計を用いた抵抗スポット溶接部の温度履歴計測	大阪工大	○西田 貴之 伊與田宗慶	428	11:00 ～ 11:15	エレクトロスラグ溶接部の脆性破壊強度に及ぼす組立溶接の影響	阪大接合研 JFEスチール 阪大接合研	○高嶋 康人 石井 匠 木下 智裕 大森 章夫 南 二三吉
	11:15 ～ 11:30	レーザクラッディングにおける成膜条件が溶融池挙動に与える影響	大阪大学 阪大接合研 大阪大学 近畿大学 阪大接合研 大阪富士工業	○中畔 哲也 阿部 信行 塚本 雅裕 谷川 大地 仙石 正則 林 良彦 山崎 裕之 辰巳 佳宏 米山 三樹男							328	11:15 ～ 11:30	高強度鋼板抵抗スポット溶接部残留応力に及ぼすテンパー通電の影響に関する数値解析的検討	大阪工大	○佐藤 彰 西川 出 伊與田宗慶	429	11:15 ～ 11:30	強度ミスマッチのシャルピー吸収エネルギーと破壊靱性値への影響度解析	大阪大学 阪大接合研
11:30 ～ 13:00		休 憩									329	11:30 ～ 11:45	高強度鋼板のスポット溶接部組織の特徴 (第3報)	新日鐵住金	○若林 千智 古迫 誠司 宮崎 康信 泰山 正則 松井 翔	11:30 ～ 11:45	休 憩		

第 3 日 (4月14日－木－)		第 3 日 (4月14日－木－)					
第1会場 (コンベンションルーム1)		第2会場 (コンベンションルーム2)		第3会場 (B7会議室)		第4会場 (B8会議室)	
第6回溶接連合講演会						溶接変形	
会 場：第1会場 (コンベンションルーム1) 13:00～17:00						〈4-7〉	
主 題：「現場ものづくり力を高めるために －コストダウンのための溶接・溶断技術を学ぼう－」						座 長 芹 澤 久 (阪大)	
座 長：田中 学 (大阪大学)						430	11:45 ～ 12:00
プログラム：							溶融池内対流熱輸送現象を 考慮した溶接変形の数値シ ミュレーション
1. アーク溶接技術のコストダウン (各25分)						431	12:00 ～ 12:15
1-1) 溶接機器からのアプローチ							大阪大学
(株)ダイヘン ○恵良 哲生							○辻 仁志 岡野 成威 望月 正人
1-2) 溶接材料からのアプローチ							大阪府大
(株)神戸製鋼所 ○川崎 浩之							○河尻 義貴 生島 一樹 永木 勇人 大前 暢 柴原 正和
1-3) シールドガスからのアプローチ						432	12:15 ～ 12:30
大陽日酸(株) ○佐々木智章							理想化陽解法FEMに基づ く溶接変形解析の実機適用
2. 欠陥をなくす ～製造現場での創意と工夫～ (25分)							大阪府大
(株)IHI ○山岡 弘人							○原田 貴明 生島 一樹 河原 充 南野 造 桑原 仁志 加藤 大雄 金武 完明 横道 健 柴原 正和
3. ひずみを減らす ～製造現場での創意と工夫～ 裏面加熱を用いたT型すみ肉溶接継手における 角変形低減効果 (25分)						433	12:30 ～ 12:45
川田工業(株) ○津山 忠久, 小谷 祐樹, 大阪大学大学院 岡野 成威, 望月 正人							補強すみ肉溶接なしの部分 溶込み溶接継手ののど厚
4. 自動化する ～鉄骨溶接のロボット化に学ぶ コストダウンの一例～ (25分)							望月鉄工所 ○小林 政夫
(株)神戸製鋼所 ○高田 篤人							
5. 溶断技術のコストダウン (各20分)							
5-1) ガス切断からのアプローチ							
小池酸素工業(株) ○畠山 航							
5-2) プラズマ切断からのアプローチ							
コマツ産機(株) ○山口 義博							
5-3) レーザ切断からのアプローチ							
日酸TANAKA(株) ○石川 広宣							
※本セッション「第6回溶接連合講演会」は、「国際ウエルディン グショー」ページからの事前登録が必要です。 (参加費は当日, 連合講演会受付にてお支払いください： 3,000円 (税込))							
※プログラムは一部変更になることもございますが予めご了承 ください。							

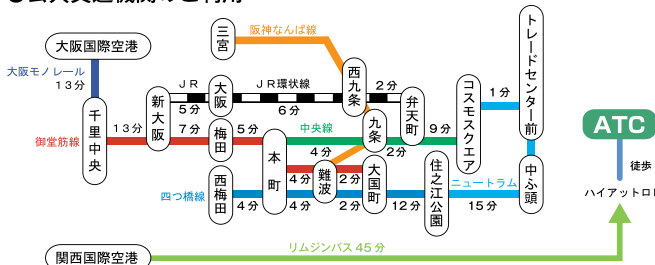
ATC への交通案内

ACCESS



- 梅田・本町・心斎橋・なんば方面から、地下鉄中央線「本町」から、コスモスクエア経由で約20分
- 新大阪駅方面から、地下鉄御堂筋線「本町」で地下鉄中央線に乗り換え、コスモスクエア経由で約40分
- 関西国際空港から、リムジンバスで約50分（ハイアット・リージェンシー・大阪下車）
- 大阪国際空港から、大阪モノレール経由、地下鉄御堂筋線「本町」で地下鉄中央線に乗り換え、コスモスクエア経由で約60分

●公共交通機関のご案内



■自動車のご案内



●自動車(高速道)ご利用



●自動車(一般道)ご利用

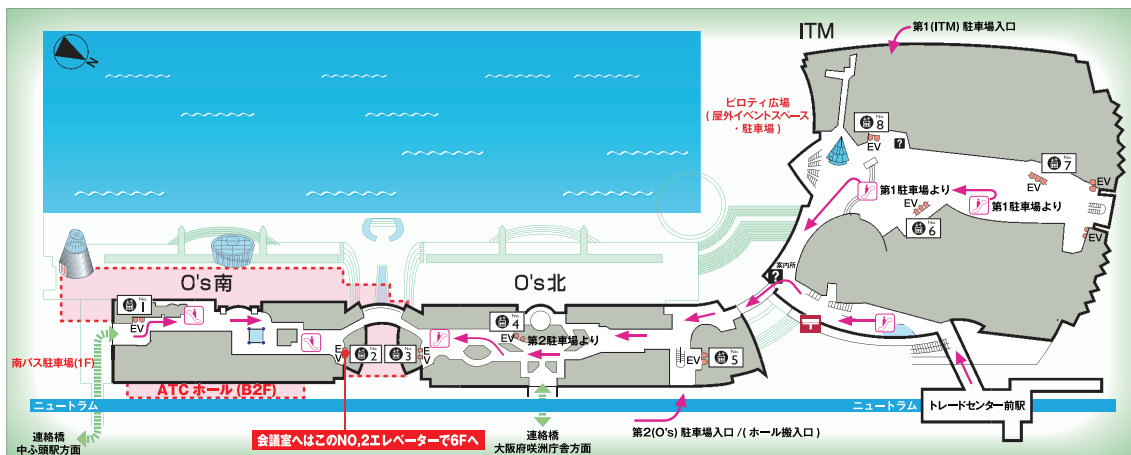


- 駐車場のご案内
取 容 : 約 1200 台
駐車料金 : 30分毎に200円
営業時間 : 第1(ITM)駐車場 9:00~24:00 第2(O's)駐車場 9:00~24:00

平日駐車料金最大 **800 円** 土日祝駐車料金最大 **1000 円**

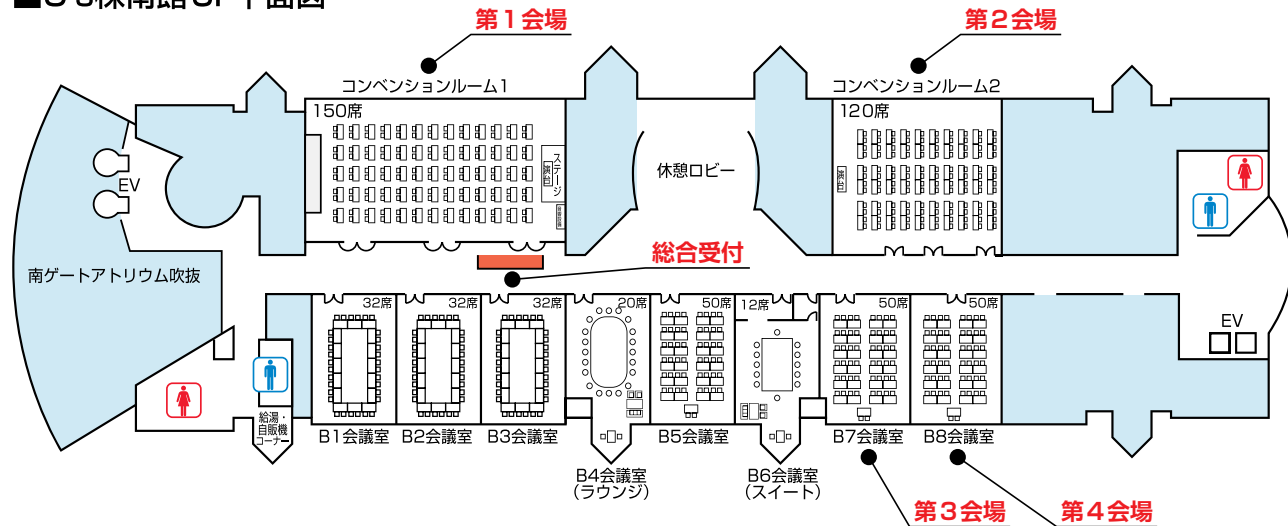
※但しお盆期間は土日祝料金

■会議室6Fへの導線(2F平面図)



全国大会受付 及び 会場は 6F になります

■O's棟南館6F平面図



アジア太平洋トレードセンター株式会社

〒559-0034 大阪市住之江区南港北 2-1-10